

すまい・コミュニティ
の創造

本格的な住まいの再建

- 被災された方々に1日でも早く住まいを確保していただけるよう、県独自の5つの支援策等により、支援に取り組んできたところ。
- 仮設住宅の入居者は令和3年10月末で1,494世帯(3,368人)、1月末をピークに減少に転じている。
- 今後は住まいの再建が本格化していくため、市町村や地域支え合いセンター等と連携し、被災者一人一人の意向に寄り添った支援を進める。

◆仮設住宅等入居者数

	戸数	人数
R3.1月末 (ピーク)	1,814	4,217
R3.10月末	1,494	3,368

②地域支え合いセンターにおける訪問・交流



仮設住宅訪問(球磨村)



仮設住宅入居者交流会(八代市)

センター訪問件数(令和3年9月末時点累計): 40,268件

①住まい再建のための5つの支援策

再建を望む方

自宅再建の場合 ※リバースモーゲージ制度

① 高齢者向け新型住宅ローン
(土地・建物を担保に、返済は利子分のみ) 月々 **1万円**～

【全ての世帯】 ※子育て世帯を偏遇

② 自宅再建 月々 **2万円**～

賃貸住宅の場合 ※仲介手数料・礼金など

③ 住み替え 初期費用の助成 【一律20万円】

公営住宅の場合

④ 入居支度費用の助成 【一律10万円】

全ての世帯

⑤ 転居費用
【一律10万円】

自宅再建

例: くまもと復興住宅
建設費 約1,300万円
(税、付帯設備などを含む)

賃貸住宅

公営住宅

- ①5つの支援策を活用いただきながら、
②地域支え合いセンターにおける訪問や交流等の活動を通して、

被災されたすべての方々が住まいの再建を果たすことができるよう、引き続き寄り添って、きめ細かな支援を進める

○**知事が仮設団地を訪問**し、緑の流域治水や住まいの再建に向けた支援策などを説明するとともに、**住まいの再建に向けた課題等について意見交換を実施**。

○意見交換の後、仮設住宅の軒先やみんなの家などでも、多くの方々とお話しし、様々な御意見を聴取。(約200人以上の方々と懇談)

○今後も、様々な機会を捉え被災地を訪問し、住民の声をお聴きしていく予定。

訪問日	市町村	訪問先（仮設団地）
7月25日(日)	芦北町 津奈木町	女島ゆめもやい緑地仮設団地 男島仮設団地
8月1日(日)	球磨村	さくらドーム・多目的広場・グラウンド仮設団地
9月12日(日)	八代市	古閑中町・市民球場仮設団地
9月23日(木)	山江村 相良村	中央グラウンド仮設団地 松葉・総合運動公園仮設団地
10月3日(日)	人吉市	下原田第一・第二・第三仮設団地 西間上第一・第二・第三仮設団地



7/25 芦北町



7/25 津奈木町



8/1 球磨村



9/12 八代市



9/23 山江村



9/23 相良村



10/3 人吉市

被災地のまちづくりと集落再生

被災市町村の復興計画・復興まちづくり計画の策定状況

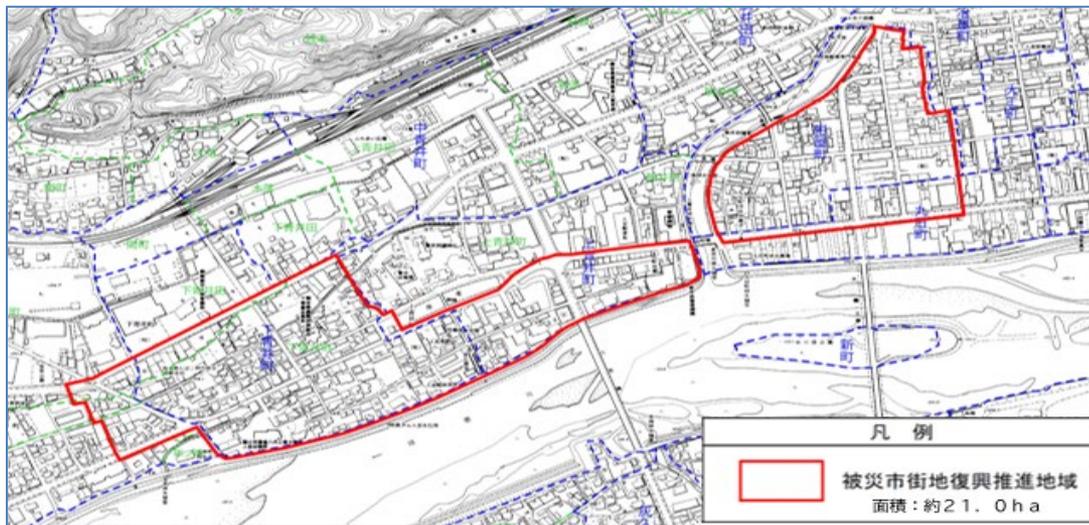
- 特に被害が大きかった6市町村（八代市・人吉市・芦北町・相良村・山江村・球磨村）が、令和3年3月までに復興計画を策定済。
- 上記のうち、八代市、人吉市、相良村、球磨村がまちづくりや集落再生の具体的な取組を示す「復興まちづくり計画」の今年度末までの策定を目指し検討を進めており、人吉市は10月末に暫定版の計画が完成。

まちづくり・集落再生の取組み(人吉市)

7月に都市計画決定した「被災市街地復興推進地域」における面的整備等の事業手法・区域を検討する「住民向け事業計画検討会」を10月から開始。現在、個別訪問による意向調査を並行して実施中。



事業計画検討会の様子

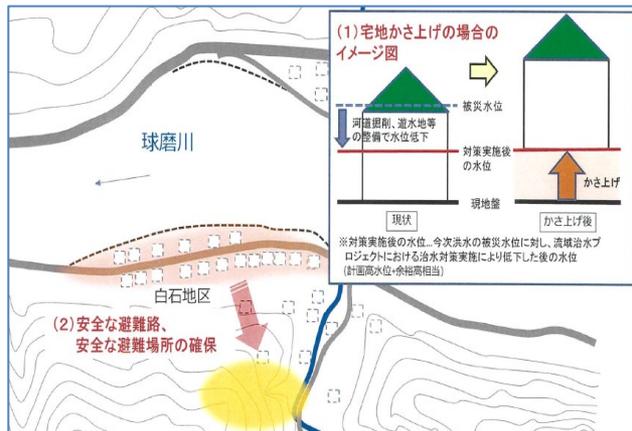


まちづくり・集落再生の取組み(球磨村・八代市坂本町・芦北町)

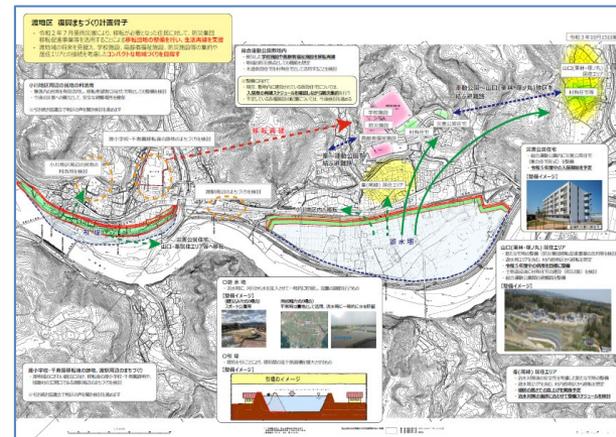
- 被災地域のすまいの再建等に向け、地域別懇談会や住民アンケート等による住民の意向把握等の実施。
- 宅地かさ上げや遊水地等の流域治水プロジェクトに掲げる事業に関する説明会等を実施。



支所周辺イメージ(八代市坂本町)



集落再生のイメージ(芦北町)



遊水地候補地・引堤のイメージ(球磨村渡地区)



宅地かさ上げ等説明会(八代市坂本町)



宅地かさ上げ等説明会(芦北町)



遊水地候補地説明会(球磨村渡地区)

なりわい(生業)・
産業の再生と創出

生業の再建と新たな産業の創出

事業再建
支援

(1)「なりわい再建支援補助金」による施設・設備の復旧支援(R3.10.15時点)

補助金申請
456件



補助金の交付決定
308件



復旧完了
233件

復旧例

鮮魚店における復旧

大型車庫における復旧



復旧前

復旧後

復旧前

復旧後

③さかもと復興商店街

(参考)
7月豪雨型
持続化補助金
採択件数577件

(2)「被災者等支援交付金」を活用した仮設商店街の開設支援

商店街の
再開

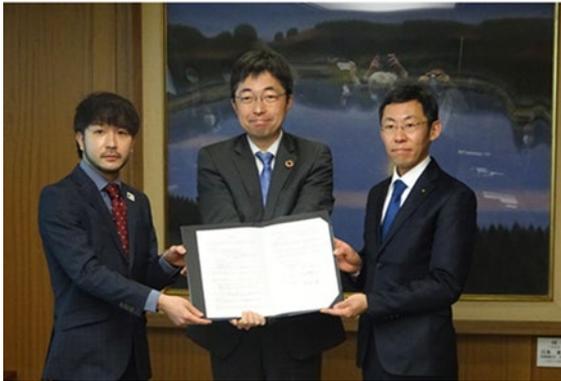
	人吉市		八代市	球磨村	
施設名 (所在)	①モゾカタウンひとよし駅前 (人吉駅前広場駐車場敷地内)	②モゾカタウンくまりば (総合交流館くまりば敷地内)	③ さかもと復興商店街 (道の駅「坂本」敷地内)	④ - (球磨村グラウンド 仮設団地内)	⑤ - (一勝地地区)
店舗数	23	3	9	4	3
開設時期	令和3年2月	令和3年2月	令和3年7月	令和3年9月	令和4年1月(予定)
現況					
				④球磨村グラウンド仮設団地	

(3) サテライトオフィスの設置等による産業の創出

新たな産業の創出

球磨川流域等で8件の協定締結

市町村が所有する学校等遊休施設や空き家をサテライトオフィスに整備する際の支援を行い、被災地域へのIT企業等の誘致を後押し



企業立地促進補助金「球磨川流域復興枠」による産業の創出

球磨川流域市町村等の創造的復興を強力に後押しするため、投資・雇用の要件緩和し、補助率を高上げた新メニュー「球磨川流域復興枠」により、企業の誘致や産業の創出を推進。

令和2年7月豪雨「災害からの「創造的復興」に向けた

球磨川流域復興枠の創設！

(熊本県企業立地促進補助金)

要件を満たすと
補助率最大 **2** 倍！

球磨川流域市町村等への立地を推進！

球磨川流域市町村等の創造的復興を強力に後押しするため、「球磨川流域復興枠」を創設しました！

県内初の台湾航路新規就航！
八代港(毎週土曜日運航)



農林水産基盤の復旧

- 生産者による農地の自力復旧や機械・施設の修繕・取得等について令和2年度に要望のあった3,661件を支援。加えて、被害が甚大であった地域において新たに219件を追加で支援(9月末)。
- 県及び市町村による農地・農業用施設、林道の本格的な復旧に向けた工事を加速。
(着手件数:4月末 184件→9月末 457件、完了件数:4月末18件→9月末 117件)

水稲の再開



農業機械の復旧による水稲の収穫

施設園芸の再開



農業施設の復旧による花きの生育

一日も早い農林水産業の再開に向けた基盤の復旧を全力で推進!

畜産業の再開



農業機械の復旧による牧草生育

製材業の再開



木材乾燥施設の復旧による木材生産

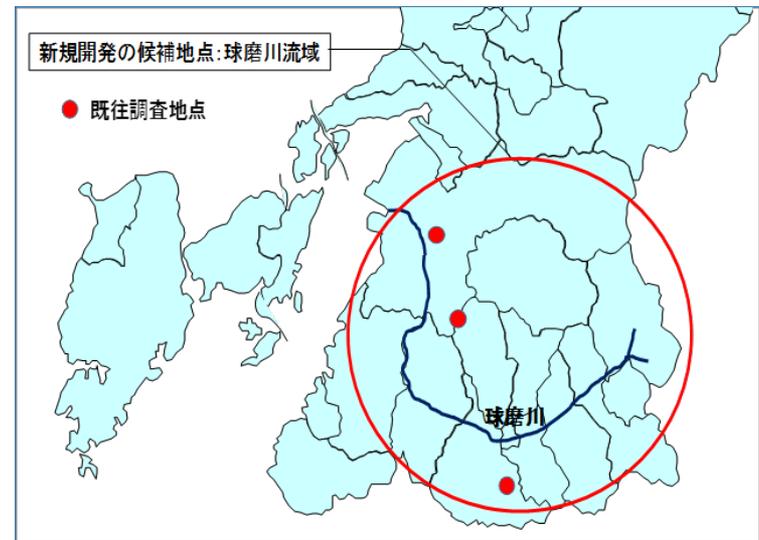
地域資源を生かした再生可能エネルギーの導入推進

球磨川水系における新規水力発電所の開発可能性調査

○ 企業局が過去に調査した地点（既往調査地点）の再評価及び球磨川水系における新規水力発電所^(※)の候補地点の検討開始

- ・ 既往調査地点
3か所（八代市、人吉市、山江村）
- ・ 新規候補地
球磨川流域10か所程度（1次選定）

※既存堰堤の活用など、流水をそのまま取水する方式を想定



「新たな再生可能エネルギーの研究」等への着手

○ 局内に設置したプロジェクトチームにおいて、焼酎粕等の地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入や、水力発電所を核とした分散型エネルギーシステムの構築等についての研究・調査を開始。



球磨川流域CO2削減住宅補助金

- 令和3年4月から、球磨川流域地域におけるリフォームや新築時の断熱化に対する補助を開始
- 10月末時点の活用状況：221件
(新築215件・リフォーム6件)



高断熱住宅※の普及による
ゼロカーボンの推進



球磨川流域地域の
復旧・復興

※冷暖房エネルギー消費量の約35%削減

補助金の概要

- 1 補助対象
球磨川流域地域(13市町村)における高性能建材(窓・ガラス、断熱材)を用いた住宅の新築・リフォーム
- 2 補助率・額
対象建材費の1/3 上限30万円

交付申請件数		(R3.10月31日現在)	
市町村	件数	市町村	件数
八代市	102	水上村	2
人吉市	53	相良村	4
芦北町	15	五木村	0
津奈木町	7	山江村	2
錦町	9	球磨村	3
多良木町	10	あさぎり町	9
湯前町	5	合計	221